

高石

学校安全衛生委員会

開催

安全衛生委員会とは

教育委員会と教職員との間で、安全衛生に関して調査・審議する会です。

労働災害を防止するには、教育委員会と教職員が一体になって取り組む必要があるという観点から、このような委員会を設置します。

労働安全衛生法に基づき、一定の基準に該当する学校では安全委員会などを設置しなければなりません。

長年、教職員の命と健康を守るために教職員組合が要求し、高石では今年度から実現し、この2月に第1回目の安全衛生委員会が開催されました。

【堺市や和泉市では、既に実現し活動しています。】

健康でこそ
仕事も人生も
続けられます校長会代表
の発言

2月17日、高石市において「22年度・学校安全衛生委員会【コラム参照】」が開催されました。冒頭の学校教育部長の挨拶に始まり、校長会代表、教頭会代表の方々と、教職員を代表しての組合代表から、現状の報告や切実な要望など様々な発言がありました。

当初は60分程度の予定のようでしたが、出席者の熱のこもった発言が続き、予定をオーバーするものとなりました。ここに概略を紹介します。

・職場の様子 人数に余裕がない。年齢などに偏りがあり、仕事に軽重がある。

・その中で「働き方改革」に職場に取り組んだ。



・校務分掌の見直し、学校教育目標の見直し、スリム化

・行事の精選 スクラップ&ビルド 懇談会の終わりの時間を設定した。校長名でプリントを出し、周知した。

・会議が多いので、内容を充実して時間を短くした。

・週に1回の定時退庁を行った。

教頭会代表
の発言

・「メッセージ電話」の導入は、本当に助かった。

・女性がしんどいとわかる時は、その人に「特別休暇などを活用して早く帰っていいよ」などの声掛けをしている。

・諸費滞納への電話かけなどの対応は、担任を中心にやっているが、時間のかかる仕事。

労働者委員
の発言

・職員検診の項目に「検便」を入れてほしい。

（大腸がんの予防、対策）

・労働安全の研修をしてほしい。

・時間外勤務の原因は、テスト作成や採点、成績つけ、受験の事務や過度な部活 と思う。

・休憩室をつくってほしい。そうすれば、女性の方も休憩できる。



・障害者雇用をした職員に職場で配慮をしてほしい。

・産業医が、各校で「労働安全研修」をすれば、産業医が身近になり、「あの医師なら、健康相談を受けようか」と感じられないか。

・この委員会を定期的に、例えば月に1回開催してほしい。

産業医の
発言

・委員会の内容や決まったことを職員に周知徹底してほしい。【例】堺は、「ニュース」を発行している。現在は、ネットにアップして「ここを見て下さい。」としている。

・健診結果を確認して、フォローする体制が大切。検診を受けっぱなしにしてはダメ。

事務局（市教委）
の発言

・現在行っている「がん検診」は希望制です。

・この会議で出た意見については、活かせる意見はこれから活かしていきたい。

・要旨になるか概要になるかはわからないが、何らかの形で会議について学校現場に返していきたい。

